

学習だより

令和6年2月

真岡市立中村小学校

学習指導部

No.10

☆真岡市総合学力調査の結果について☆

11月16日（木）・17日（金）に次のように学力学習状況調査が行われました。御家庭の協力のおかげで、本校の結果は、どの学年も市、県、全国の平均並または上回る好成績でした。

1・2年生

国語・算数（ベネッセ学力調査）

3年生

国語・算数

4・5・6年生

国語・算数・社会・理科



個人の結果と解答用紙を2月14日（水）に持ち帰りました。個人の結果をよく御覧になり、理解できていた学習内容と理解が不十分だった学習内容を確認し、今後の学習に役立ててください。学校でも、今回の結果をよく分析し、今後の授業に生かしていきます。

なお、一人一台端末を活用して、学力調査の診断結果をもとにした一人一人に応じたカリキュラムファイルを作成しました。使い方は、別紙の「ドリルパーク総合学力調査ふりかえりの使い方」を参照してください。児童が、各自の結果表に印字されているQRコードを読み込むことも可能です。

○本校児童がよくできていた内容

- ・漢字の読み書き
- ・放送された内容を聴き取る。
- ・説明的な文章、文学的な文章の読み取り
- ・整数、分数、小数の計算
- ・角や面積の求め方



○本校児童にこれから努力してほしい内容

- ・国語辞典や漢字辞典の使い方
- ・場面の様子を読み取り、想定される発言を書く
- ・答えた理由の説明（どの教科も）
- ・「時刻と時間」「長さ」「重さ」など、日常生活でも養える問題





学力（学習成績）向上のポイント



頑張っているはずなのに、なかなか成績が上がらないと悩んでいるお子さんがいます。学習方法を聞くと、弱点の補強がなされていないことに、成績伸び悩みの原因がありそうです。



ある学校で「ドリルを3回繰り返したのに・・・」というお子さんがいたので、ドリルと、自学ノートを確認してみると、確かに計算ドリルを3回繰り返しており、一生懸命勉強した跡があったそうです。

しかし、ドリルと自学ノートの内容を見比べてみると、できているところは3回とも出来ており、出来ていないところは3回ともできないまま終わっていたとのことでした。つまり、弱点補強がなされないまま、勉強を終わりにしてしまったわけです。



テストは重要なところが出題されます。しかも、各種テストで同じような問題が繰り返し出題されます。ですから、テストで出来なかったところを完全におかしないと、次にテストで出題されたときにもできないことになってしまいます。



テストが返された後（問題を解いて答え合わせをした後）からが、本当の勉強のスタートです。テストが返され、点数だけを見て「できた、できなかった」で終わりにしないで粘り強く弱点を克服していくよう、御家庭でも励まし、御指導ください。

